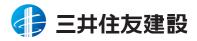
# PC 設計 NEWS





あんらくがわばし

## 安楽川橋(仮称)(その1)

本工事は、新名神高速道路(四日市 JCT~亀山西 JCT (仮称) 区間(27.8km)) の 亀山西 JCT に位置し、鈴鹿国定公園を含む豊かな自然に囲まれた環境下での、安 楽川橋上下部工事(新設)及び錐ヶ瀧橋(既設)の床版拡幅工事です。

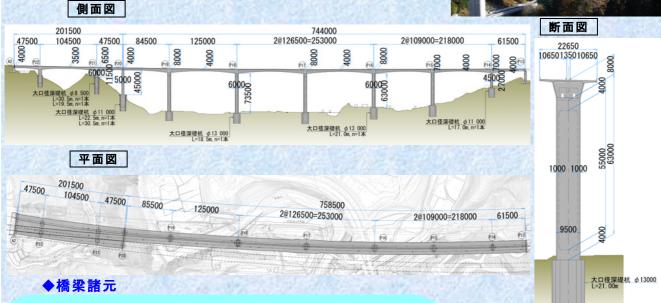
安楽川橋は、池山高架橋(供用中)の上下線間に位置し、供用線と近接施工となっています。一方、錐ヶ瀧橋の床版拡幅工事についても供用中の本線2車線を確保した上での超近接施工となるため、どちらも通行車両に対する安全確保が重要課題となります。

工事区域については砂防・保安林指定区域を含み、環境保全、特に河川の水質保 全を図るため濁水の流出、工事排水の水質に厳しい条件が付されています。





### ◆一般図



3750 (完成幅員)

工 事 名:新名神高速道路安楽川橋他1橋工事

発 注 者:中日本高速道路株式会社

設 計 者:詳細設計:三井住友建設株式会社

位 置:三重県亀山市安坂山町地内

路 線 名:高速自動車道国道近畿自動車道名古屋神戸線

道路規格:第1種第2級B規格(暫定)

形 式:PC7径間連続ラーメン波形鋼板ウエブリブ付き箱桁橋

:PC3径間連続波形鋼板ウエブリブ付き箱桁橋

荷 重:B活荷重

橋 長:744.0m(61.5+2@109.0+2@126.5+125.0+84.5m)

209.0m(47.5+104.5+47.5m)

総 幅 員: 22.650~42.956m(有効幅員 24.762~42.066m)

架設工法:張出し架設工法、固定支保工架設工法

P C 鋼材: 主方向: SWPR7BL 12S15.2 (ディビダーク工法、フレシネー工法、内ケーブル)

SWPR7BL 19S15.2 (ディビダーク工法、フレシネー工法、外ケーブル)

横締め: SWPR19L 1S28.6 (SM 工法、プレグラウトタイプ)



10650 9760

上部工拡幅部断面図

39710 ~ 41086 35960 ~ 37336

#### ◆構造·施工概要

#### 1) Rap-Con 工法の採用

7径間部については、施工の急速化を図るため波形鋼板上に、架設作業車を直接配置して3つのエリアを同時に施工するRap-Con 工法を採用しています。

- 2) 基礎形式は、P14~P22までの橋脚部が大口径深礎基礎、A2橋台、P13橋脚が直接基礎です。一部に竹割り型土留め工を併用して、地形改変面積を最小に留めることで周辺環境負荷の低減を図っています。
- 3) クライミング工法の採用

7 径間部の下部工構造は、中空断面R C 橋脚であり橋脚高が約70mを超えるものもあります。 橋脚施工用の型枠・足場を一括に盛り替えて施工するクライミング工法を採用することで、通 常施工(総足場工法)に比べて仮設材を軽減でき、通常施工で必要となる70m分の足場荷重に耐 えうる支持地盤を必要としません。



クライミンク゚工法



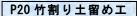




完成予想図

大口径深礎工施工状況







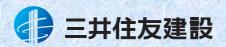
P17 橋脚施工状況



P14 柱頭部施工状況

#### ◆工程表

Г				目	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
		項	目		4 5 6 7 8 9 10 11 1	2 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	1 2 3 4 5 6 7 8 9
	準	ſ	뷲	I							
	詳	細	設	計							
安楽川橋		橋朋	〕基 礎	I							
		橋	脚	エ							
		上音	阝橋 体	I							
		付り	寓 物	エ							
		橋	面	エ							
錐ヶ瀧橋		上音	阝橋 体	I							
		付し	寓 物	I							
		橋	面	エ							
	片	付	け	I							



発 行: 三井住友建設(株) 土木本部 土木設計部

連絡先: 東京都中央区佃2丁目1番6号 TEL03-4582-3063

URL: http://www.smcon.co.jp

現場: 三重県亀山市安坂山町 1827-1 TEL0595-85-8156